



不登校対策ファミリーサポート事業 「親の勉強会」

テーマ・「家庭の中の親子の関わり方」

2008年度不登校対策ファミリーサポート事業の「親の勉強会」が、9月29日サニー プレイス座間で行われました。この「勉強会」に、ご夫婦の参加もあり、18名の方が参加して下さいました。あすなろスタッフも研修会を兼ねて総勢38名の参加となりました。

長年、小田原でこの教育を実践してこられたCLCA 和田重宏先生のお話は具体的で説得力がありました。

不登校は、登校渋り→初期→長期化と段階があり、それによって対応は違い、長期化した場合は家族間の解決は困難となる。こんな時、第三者の助けが必要となってくる。とにかく親が元気になる事が家庭の雰囲気が変わり、子ども達も変わってくると言う事でした。



体験交流活動

育てた小麦粉で「手打ちうどん作り」

10月2日(木)にあすなろの家で、昨年一昨年に続いて適応教室「つばさ」との交流教室の手打ちうどん作り会を行いました。8名の友だちを迎えて、総勢39名の参加で大変にぎやかでした。

日程の最初にあすなろ農園の見学から始まりました。快晴に恵まれ青空の下で、真っ白なそばの花が一面に咲いています。畑にはさつま芋・里芋・落花生・ねぎがあります。

帰りのコースには稲のはぜ掛けなども見て秋の田園風景を味わいました。

帰ると早々本番のうどん作りを行いました。

ふるいにかけて500gのうどん粉に水を加えて、木鉢の中でこねます。スタッフの掛け声に、汗をにじませ、手に力が入ります。次に丸まったうどん粉を足で踏みますが体重の重い人が楽勝です。麺棒で伸ばして、うどん切り包丁で切り、茹でて完成です。自分で作ったうどんを味わいます。太いの細いの不揃いですが、自分で作ったうどんは最高の味です。つばさ持参のあけび・白ナス・ピーマンなどと、農園で採ってきたさつまいも・ねぎ・ナスなどの天ぷらも付いて本当においしい会食になりました。

「おいしかった」「楽しかった」「おもしろかった」等の感想に、小麦を育てた苦勞が報われた気持ちでした。このような体験交流活動を今後も続けたいものです。

